

令和6年度 地域共創インフラツアー 対象テーマと予約枠

ツアーテーマ		定員	時期	予約枠数
函館編	～過去から現代までの歴史を巡る～ 時代と共に発展してきた「みなみ北海道の交通」を見てみよう！	20	7月の平日	全1回

各テーマの詳細、メニューリスト、周辺マップは次ページ以降をご覧ください。

地域共創インフラツアー（函館編）

～過去から現代までの歴史を巡る～

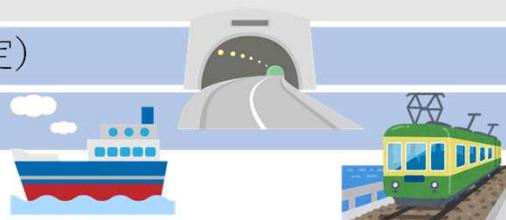
時代と共に発展してきた「みなみ北海道の交通」を見てみよう！

- ◆日本最初の国際貿易港のひとつとして長い歴史をもつ函館には、古くから人々の暮らしを支えてきた「交通」に関する魅力的な地域遺産が今も数多く残されています。
- ◆その一方、現在、みなみ北海道では高速ネットワークの拡充による道央圏と道南圏の連絡機能の強化を図るため、北海道縦貫自動車道事業において、「オオヌマトンネル」工事が進められています。
- ◆本ツアーでは、みなみ北海道の交通に関係する地域遺産やトンネル工事現場の見学を通して、みなみ北海道の交通の歴史と「いま」を学びます。

予約枠 7月の平日1回（日程は調整の上決定）

ツアー定員 20名

※その他応募の諸条件は、催行応募要領をご覧ください。



👉 ここがポイント！

- ☆ロシア帝国のウラジオストク艦隊による襲撃に備えて建設された全国的でも珍しい大規模な軍事土木遺産である函館山の旧軍事要塞のなかでも、普段は立ち入ることのできない「御殿山第一砲台」の内部を特別に見学することができます。
- ☆北海道最初期の港湾コンクリート構造物である土木学会選奨土木遺産「船入澗防波堤」、普段は立ち入ることのできない函館どつく株式会社の迫力ある「第1号乾ドック」の見学で、当時の技術力の高さを実感することができます。
- ☆北海道最長の道路トンネルとなる「オオヌマトンネル」が建設される様子を間近で見学し、工事のスケールと迫力を体感できます。
- ☆馬車鉄道からはじまり111周年を迎える函館市電の「駒場車庫」を見学し、函館の交通の歴史を感じることができます。交通部お勧めの車両や模擬運転台を見学できます。

メニューリスト

ツアーを企画する際は、以下「メニューリスト」のうち☆印は必須ですが、その他グルメ、観光スポットなど任意で行程に組み入れていただけます。【 】は所要時間の目安です（分）。

- ① **御殿山第一砲台（旧函館軍事要塞）** (☆) 【40】
旧陸軍が港湾防衛のため函館山に建設した軍事施設の砲台跡を見学
- ② **函館漁港 船入澗防波堤** (☆) 【15】
北海道における港湾修築の先駆的な構造物である石積防波堤を見学
- ③ **函館どつく株式会社 第1号乾ドック** (☆) 【45】
東北以北最大の造船所で最初期の構造物である乾ドックを見学
- ④ **北海道縦貫自動車道 オオヌマトンネル工事** (☆) 【40】
北海道最長の道路トンネルとなるオオヌマトンネル工事現場を見学
- ⑤ **函館市電 駒場車庫** (☆) 【40】
函館の中心部を走る路面電車運行拠点の歴史ある車庫を見学

※見学施設はすべて解説付きです。 ※函館駅前発着の日帰りツアーをお勧めします。

○見学可能な施設

北海道縦貫自動車道 オオヌマトンネル工事



函館市電 駒場車庫

国土地理院地図

函館どつく株式会社
第1号乾ドック



函館漁港 船入潤防波堤



御殿山第一砲台
(旧函館軍事要塞)



国土地理院地図